

登別市

9333 福井美咲

1. 登別市の概要と歴史

1.1 地名の由来

「登別」という地名は、アイヌ語「ヌプルベツ」(色の濃い川)(nupur-pet 色の濃い・川)に由来する。石灰質のカルルス温泉が川に流れ込み色が白く濁っていることによる

1.2 歴史

明治 2 年に太政官布告により仙台藩白石城主の片倉小十郎邦憲が幌別郡の支配を命ぜられる。明治 3 年に幌別鉱山の開発が本格的に進み、金、銀、銅、硫黄の採掘が行なわれ、硫黄は大正 5 年から大正 8 年にかけて日本一の産出量であった。大正 8 年に幌別郡 3 カ村を大字とし、幌別村とする。昭和 26 年に町制施行、幌別町とする。昭和 36 年に登別町と変更する。昭和 45 に市制施行、全国で 570 番、道内で 30 番目に市制を施行する。

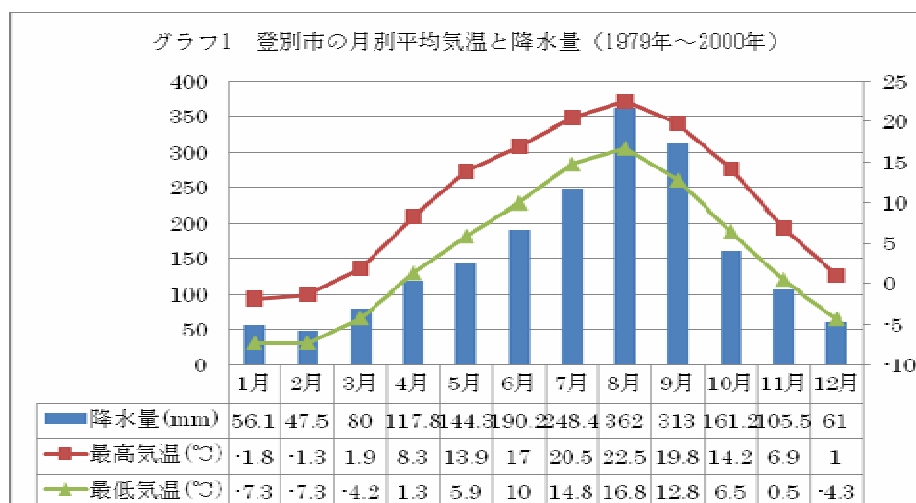
2. 地理と気候

登別市は、東経 141 度 6 分、北緯 42 度 24 分(市役所所在地)に位置し、東西 18.5km、南北 22.6km にわたり、面積は 212.11km² となっている。地勢を概観すると北西が高く南東に低く、火山地帯・台地・平野・太平洋へとつながるなだらかな傾斜になっている。北東から北西にかけて四方嶺・オロフレ山・来馬岳・カムイヌプリ・鷲別岳などの山々がそびえ、麓には酪農・畜産業が盛んな札内台地、南東端は広漠とした太平洋に面し登別漁港を拠点に沿岸漁業が行なわれ、ほぼ一直線の海岸線に沿って市街地を形成している。また、豊富な湯量を背景に登別温泉、カルルス温泉を中心とした観光産業が盛んである。気象は、太平洋に面し海洋の影響を受けるため、夏冬の温度差が少なく、夏は涼しく冬は厳しい冷え込みの少ない比較的温かな都市である。暖候期には高温多湿なため降水量の多い地域でもある。

図 1 登別市の位置

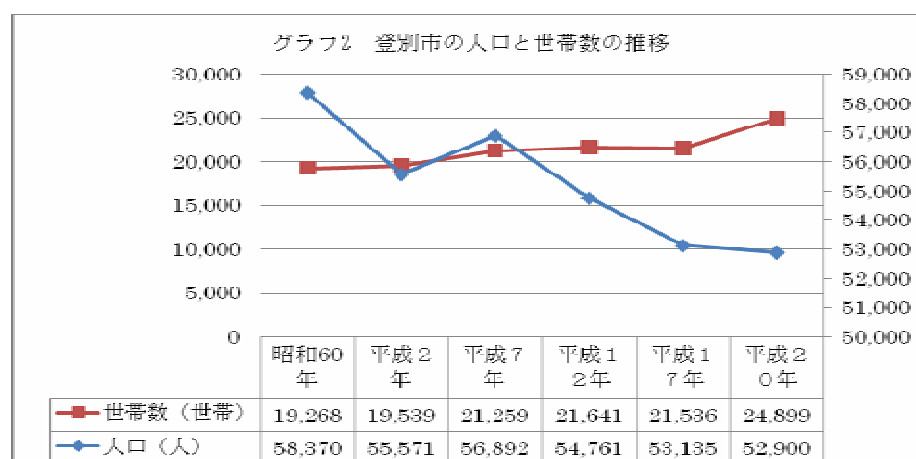


出典 ウィキペディア



資料 気象庁 HP

3. 人口・世帯数



資料 国勢調査、平成20年は住民基本台帳

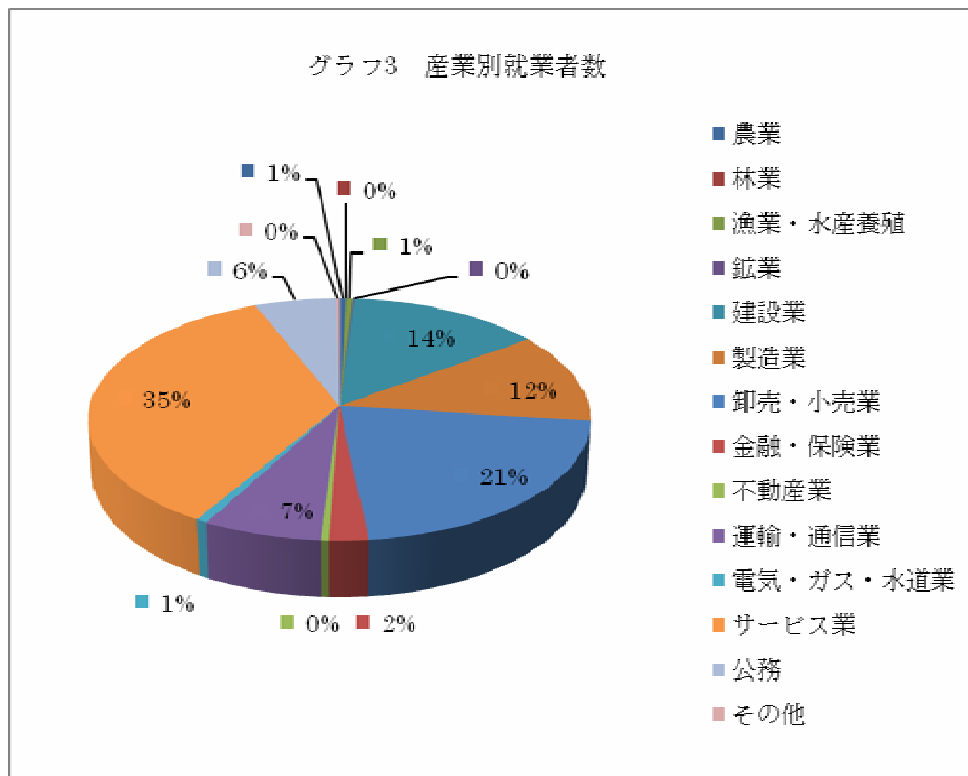
高度経済成長を受け工業都市室蘭市の人口増加とともに当市の人口も増加し続けたが、昭和58年の5万9千人をピークに減少傾向にある。世帯数は核家族化の進行により増加傾向にあるが、世帯規模は少子化等の影響で縮小傾向にある。

4. 産業

4.1 産業別人口

登別市の産業別就業者数を見ると3次産業の割合が圧倒的に多く、全体の73.％を占めている。産業分類別で見ると、サービス業が35％、卸売・小売業が21％となっている。

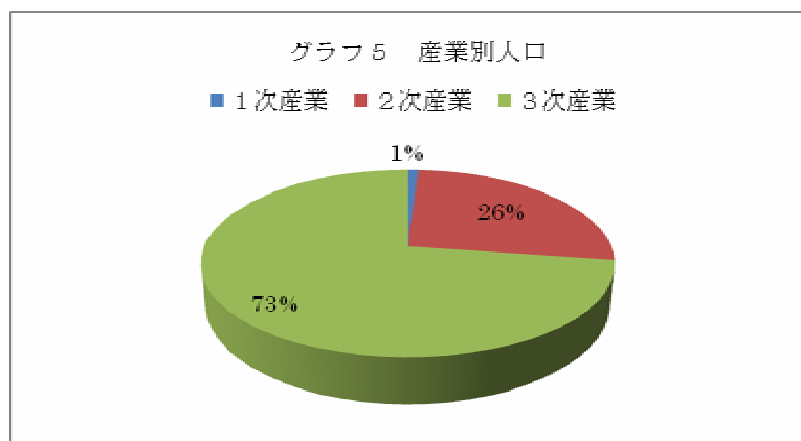
1次産業についてはそれほど盛んではないものの、毎年水産業の振興と地域振興及び漁港愛護を兼ねて、登別漁港まつりがおこなわれ、海産物の即売、各種イベント、花火大会などが行われている。



資料 平成17年国勢調査、登別市総務部

2次産業の割合は道内でも上位に位置しており、1次産業よりもウェイトが高くなっている。南西部は室蘭市に続く工業地帯の一部であり、海沿いには工場が多く立地している。

3次産業については、登別温泉が観光地として有名なこともあり、毎年多くの観光客が訪れることが市の振興に大きな効果をもたらしていることがわかる。また、登別市の上水道は戦後に始まり、その後の人口増加や産業の発達により飲料水や工業用水の需要が増大し拡張工事が進められた。近年は地震などの有事の際でもライフラインを確保できるよう管路の整備や浄水場・配水池の整備を図っている。平成19(2007)年度末で普及率98.14%、年間給水量4,351,697 m^3 となっている。



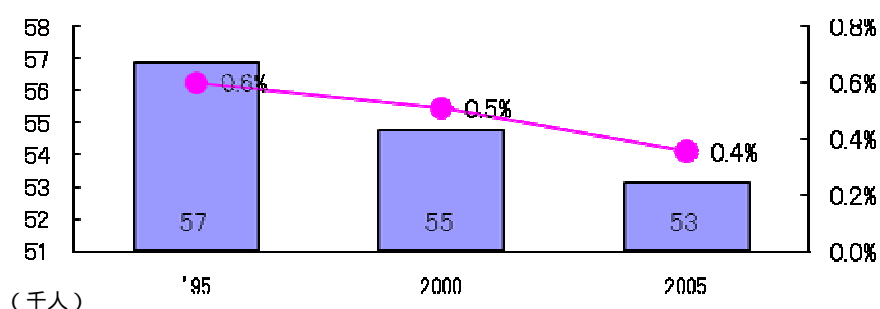
資料 登別市 HP

4.2 農業

登別市の農業は、気象条件や土壌条件などから酪農、畜産を主体として発展してきた。農地面積 1,045ha の 90%を超える約 980ha 余りが、牧草地（採草放牧地含む）となっている。表 4 からわかるように、近年は、農業者の高齢化と後継者の確保が難しく、農家戸数が年々減少している状況にある。

このような厳しい情勢の中、従前の生産する農業から脱皮するべく、豊かな緑と広大な台地のもと、観光産業と結びついた体験型農業を推進している。

グラフ 6 総人口および総人口に占める農業人口割合の 10 年間の動き



資料 農林資産省 HP 市町村の姿

4.3 林業

登別市の森林面積は、約 15,500ha で市総合面積の 73%を占めており、豊かな森林に恵まれている。民有林の面積は 5,000ha でトドマツやカラマツが主体である。国有林では、貴重な高山植物が生育する高山帯、中、大径木の広葉樹林が林立する天然生の樹林帯及び人工樹林帯と多様な林分構成となっている。

4.4 水産業

登別市には、登別漁港（第 3 種）、鷺別漁港（第 1 種）、富浦漁港（第 1 種）の 3 漁港があり、中でも登別漁港は、いぶり中央漁業協同組合の地元船の利用ばかりでなく、全国各地からのイカ釣り漁船が利用する漁港となっている。主な漁業形態は、刺し網漁業で、その他、定置網漁業、かご漁業、イカ釣り漁業、ホッキ桁網漁業となっており、主要な水揚げは、スケソウダラ、シロザケ、ホッキ貝、毛ガニ、カレイで全体水揚げの約 90%を占めている。市では、漁業経営の安定化を進めると共に、漁港整備を推進している。

図 2 鷺別漁港



出典 登別市 HP

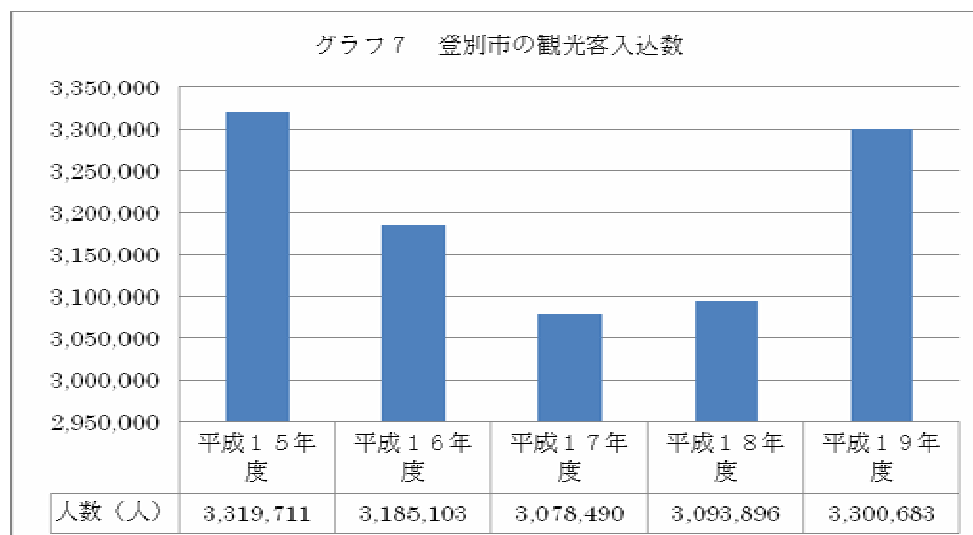
図 3 登別漁港



出典 登別市 HP

5. 観光

グラフ7からわかるように、登別市の観光客入込数は平成15年度から平成18年度にかけて減少しているが、平成19年度になり、回復が見られる。これは、近年、心身のリフレッシュや積極的な健康づくりに温泉が活用され、温泉の効能が見直されていることが理由の1つとして考えられる。



資料 登別市役所 HP

5.1 登別温泉

北海道は、約226ヶ所の温泉地がある日本有数の温泉天国である。そのなかでも、北海道を代表するのが登別温泉である。自然湧出量1日1万トン、源泉温度45～90℃、更に登別温泉の魅力は硫黄泉や食塩泉、鉄泉、明ばん泉など世界的にも珍しい多種類の温泉が湧出していることで、温泉のデパートとも言われている。

登別温泉の国内での人気はもちろんのこと、最近では台湾、香港、韓国などの海外から訪れる人も年々増加している。そのため温泉街でも外国の言葉や文化を学ぶなどして海外からのお客様のもてなしにも力を入れている。

図4 地獄まつりの様子



出典 登別市 HP

5.2 観光名所

5.2.1 登別地獄まつり

年に一度、登別温泉の名所である地獄谷の「地獄の釜のふた」が開き、閻魔大王が赤鬼、青鬼などを引きつれて温泉街に現れるという奇想的な祭り。主会場である温泉街のメインストリート「極楽通り」では、「前触

れ太鼓」・「鬼みこし暴れ練りこみ」・「鬼踊り大群舞」・「閻魔大王のからくり山車」などの

イベントが催される。

5.2.2 地獄谷

地獄谷は、日和山の噴火活動によりできた爆裂火口の跡であり、その大きさは約 11 h a、長径約 450mもある。

下の写真は、地獄谷展望台の真正面の剣ヶ峰と呼ばれる火口壁で、鋸の歯を逆立てたような楮岩（しゃがん）の絶壁がそそり立っている地獄谷の地表には、小さな爆裂火口や噴気孔や湧出口があり、ガスと高温の温泉を湧出している地獄谷は古くからしばしば変動があり、特に昭和 26 年の秋頃から様子が一变し、市街地に接する入口付近に噴気孔が移動して、それ以前にもっとも活動の激しかった奥地獄付近は、ほとんど活動を休止している。これらの変動は 1 つの爆裂火口内での泉源の活動であるので、心配がないといわれている。

地獄谷には鉛地獄・鉄砲地獄など、15 の地獄がある。地獄谷を拠点として遊歩道が整備されており、地獄谷の中の鉄泉池や近くの大湯沼、奥の湯などを周遊し、大湯沼川では天然の足湯に浸かり森林浴を体験できる。

図 5 地獄谷



出典 登別市 HP

5.2.3 新登別大橋

この大橋は、道々上登別室蘭線改良工事の一環として総工費 24 億円を費やし、昭和 54 年に着工し、昭和 61 年 10 月に完成したものである。橋から谷底まで 120m、橋長が 240mとなっている。また、この橋の施行はケーブルによる斜吊工法が採用された。

橋の形は逆ローゼであり真っ赤なアーチ支架橋も一見に値する。さらに、谷にはつつじ、うるし、紅葉などの樹木が密生しており、秋の紅葉時期には多くの観光客で賑わいを見せている。

図 6 新登別大橋



出典 ウィキペディア HP

5.2.4 のぼりべつクマ牧場

のぼりべつクマ牧場は、北海道に生息している野生動物の保護と観察、研究のため昭和 33 年 8 月、エゾヒグマの放牧 8 頭により開設され、ヒグマの多頭集団飼育に成功し人工繁殖や冬ごもりの実験等と教育普及にも努めてきた。現在までに、アイヌ生活資料館、ヒグマ博物館、リス村等を併設し、クマのショー、アヒルの競走などアトラクションも行っている。

登別温泉街からロープウェイで約 7 分、標高 550m の四方嶺山頂に、クマ牧場をはじめ、

図 7 のぼりべつクマ牧場



出典 登別観光協会 HP

人のオリ、ユーカラの里（アイヌ資料館）、ヒグマ博物館、展望台等が設置されており、その中で北海道のエゾヒグマ、エゾリス等の繁殖群を放養している。また、当施設は周囲が支笏洞爺国立公園の豊かな自然環境の中にあるため、野生鳥獣も多く見ることができる。

参照ホームページ

登別市・登別観光協会 HP <http://noboribetsuspa.dip.jp/nobo/>

登別市役所 HP <http://www.city.noboribetsu.lg.jp/>

農林水産省 HP <http://www.maff.go.jp/>

気象庁 HP <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

北海道庁 HP <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/>

ウィキペディア HP

<http://ja.wikipedia.org/wiki/Wikipedia:%E3%82%B3%E3%83%9F%E3%83%A5%E3%83%8B%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%BB%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%83%AB>